



豊かなスポーツライフの実現に向けた氷上のスポーツ教育の在り方 ～小学校教育と地域スポーツ団体の調査から～

教育学研究科 教職実践専攻
村上 貴史



豊かなスポーツライフの実現

スポーツは、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に寄与。心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠。

出典：文部科学省(2011)スポーツ基本法 より抜粋



研究の目的

小学校教育と地域スポーツ団体によって実施されている氷上のスポーツの指導について実態調査を行うことで、子どもたちの豊かなスポーツライフの実現に向けた教育活動の在り方を明らかにすること。



方法

調査①

氷上のスポーツ指導を教育課程に位置づけている県内小学校へのアンケート調査(n=19)

調査②

県内アイススケートリンクを拠点とする地域スポーツ団体への聞き取り調査(n=5)



調査①の結果（小学校教育）



調査①の結果 氷上のスポーツ指導の時間

時間 (単位時間)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
学校数	1	6	4	7	0	0	0	0	1	19



調査①の結果 氷上のスポーツ指導の目的

- 冬場の運動量の確保
- アイススケートの基礎習得
- 冬季スポーツの体験・意欲向上
- 地域施設の利用体験



調査①の結果 氷上のスポーツ指導の課題

- 講師料・バス代などの出費が多い
- 移動・準備にかかる時間が多い。
- 指導できる教員の不足(研修が難しい)
- 施設利用の日程調整(利用時期の集中)



調査②の結果（地域スポーツ団体）



調査②の結果 氷上のスポーツ指導の目的

- ・地域スポーツの振興
- ・アスリートの競技力向上と環境整備



調査②の結果 氷上のスポーツ指導の課題

- クラブ運営資金の不足(用具等)
- 指導者の不足
- 他団体との施設利用の時間調整



考察



考察(現状)

- 学校教育が入り口となり、地域スポーツ団体がその受け皿となっている。





考察(提案)

・学校教員を対象とした

・学

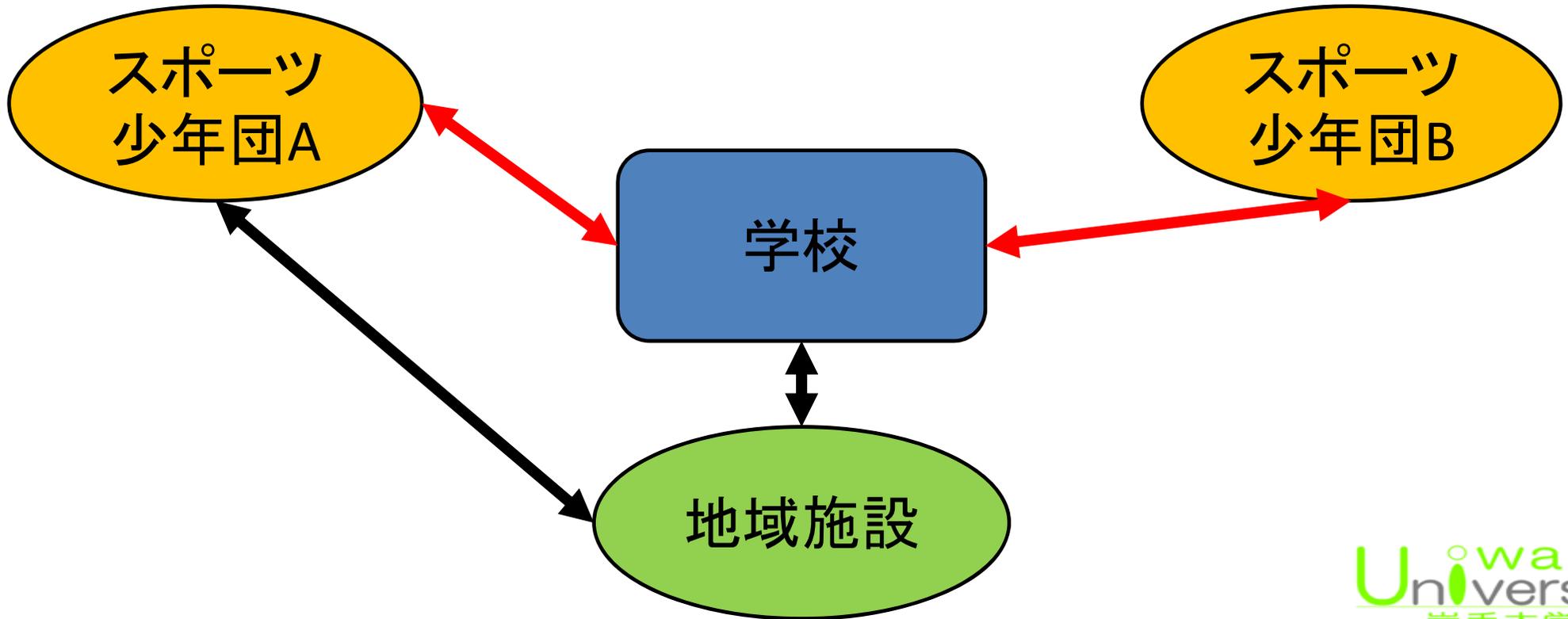
・氷上の

実現には！？



考察

- 学校を軸とした地域団体の連携





参考文献

- 文部科学省 (2011) 『スポーツ基本法』
- 文部科学省 (2018) 『小学校学習指導要領解説 総則編』



豊かなスポーツライフの必要性

高齢化社会の進展・生活様式の変化による課題

体力低下

生活習慣病

精神的ストレス

解決策

豊かなスポーツライフの実現

スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠。

出典：文部科学省(2011)スポーツ基本法より抜粋



氷上のスポーツと取り巻く岩手県の現状

- 東北地方最多のアイススケートリンク数（県内7カ所）
- 通年利用可能のアイススケートリンクの存在（盛岡市アイスリンク）
- 小中学校において、スキー学習の減少に伴って、スケートの学習が増加している。